

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		フォレストキッズ稲毛海岸教室				公表日		2026年 3月 16日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・参観する保護者のために、支援の机の向き、位置を変えて保護者が見学しやすいように工夫している。	子供の身体的成長に適合する椅子や机の提供ができていない。 音の出る教材など、周囲の様子が気になり音の集中できない状況にある			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	職員の配置には、十分配慮を行っている。	言語聴覚士の常勤配置が欠如している為、保護者の言葉の支援要求になかなか応じられない。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	階段なので、2階まで職員がベビーカーを上げる手伝いをしている。	・入口までの長い階段はベビーカーで来所の際に困る方がいる。 ・室外のバリアフリー化はされていない。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎日清掃している。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	個別の部屋ではないが、パーティションで区切られている。	・パーティションやホワイトボードで個室のようにして、ノイズを除去している。ただ、個室は用意されていない。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	・意見が通りやすい環境である。	定休日が無いので、常勤職員全員が出勤する日が無く、スタッフ間で共有ができていない。ライン等で周知するようにしたい			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者からの意見等は、スタッフ間で情報交換されている。 可能な限り対応している。 意見が通りやすい環境である。	評価表はHPで公表している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	意見はその都度オーナーへ伝達され、改善を図るようにしている。 意見が通りやすい環境である。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	フランチャイズのスーパーバイザーからのアドバイスや評価を取り入れて改善を図っている。	第三者機関の評価は受けていない。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	研修の機会は積極的に設けている。	全員の参加ではない。(有償の研修などは参加できる職員の数が制限されている) 職員にはできる限り研修に参加できるように、シフトなどでも工夫したい。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	個々のニーズに合わせたプログラムを提供している。	プログラムはHPで公開されている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	子どものニーズを計画書に反映している。				
	13	児童発達支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・会議を設けている。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・支援記録で対応している。				

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・個別に相談しながら作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・子どもの様子により変更している。 ・子どもの達成感や飽き具合等をスタッフ間の共有で係留・調整がある。	・子どもによっては、長期間変わっていないプログラムがある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・ほぼ個別だが、同じ場所に通う子ども同士の関わりを大切にしている。	・集団活動は少ない。(個別療育のため)
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	・一日の振り返りをする時間を設けて、次回へつなげている。	・時間が足りず、必ずしもできていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・正社員、パートの区別なく、風通しの良い発言の場があるため共有できている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援の引継ぎができるように詳しく記録している。	
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が出席している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	他事業所からの見学等は、積極的に受け入れている。	・実践の機会が少ない
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	保護者に対して、共有が必要なところを毎回確認している。必要があれば、体制を整えている。 インクルージョンが図られているうえ、他施設からの要望を前向きに即時対応する姿勢がある。	・保育所等への共有は保護者経由で伝えている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	(31は、事業所のみ回答)			・会議には参加している。	・そうした機会はない。	

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	通所持のご兄弟たちとは年齢に関わらず交流が見られる。 園を見学する機会を設けているが、子ども同士の交流はない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	毎回のフィードバックで伝えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	・webを通じて支援を図っている。 ・情報共有を行っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に詳しく説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	保護者から同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	相談がある場合に、適宜応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	父母会の開催を検討している。 通所時、他のご兄弟たちとは年齢に関わらず交流が見られる。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	SNS、ブログの更新回数を増やしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0			
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		このような機会を個別療育で設けるのは制約があり難しい。	
非	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的の実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	食べ物の提供は行っていない。	

常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	非常口、及び避難場所を見学室に掲示している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	都度ビデオ研修を行っている。(年1~2回)	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	現在までにこのような事例は発生していない。 周知徹底されている。	